

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（小学校・算数）

杉戸町立西小学校

1 本校の概要

(1) 埼玉県学力・学習状況調査の結果

学年	伸びた層			本事例で取り上げた領域				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
5		○				○		板書の工夫

※ 「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

(2) 伸びた結果の要因、背景

小中一貫の取組として、「授業の約束10か条」を作成し、全校で指導した。

その結果、共通の学習規律が徹底されるようになってきた。また、「家庭学習の5か条」、「家庭学習の内容」を作成し、何を家庭で学習するかわかるようにした。

3年間、『学級経営を基盤とした「知・徳・体」のバランスのとれた児童の育成』というテーマで学校課題研修を行ってきた。その中で、子供たち一人一人のつまづきを見つけ、克服させることが教師と子供の信頼関係を生むことになることが分かってきた。このことが全ての教科に良い影響を与えた。

2 具体的な取組

(1) 教育委員会との連携による取組

杉戸町では、子供たち一人一人の学びを充実させ、「生きる力」をはぐくむことを目的として学び充実推進委員会を設置している。各校の教務主任、研修主任等が集まり、学力向上策、各校の課題・取組についての協議や学力調査の分析から課題を踏まえた授業研究会を行っており、平成27年度は、西小学校4年生において、算数の授業研究会を実施し、協議を行った。

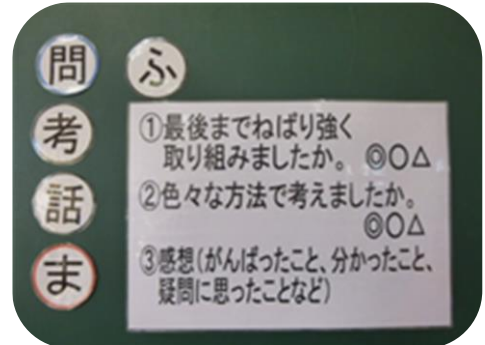
西小学校においては、埼玉県学力・学習状況調査の分析の結果、5年の図形に課題が見られた。そのため、次年度の埼玉県学力・学習状況調査を見据え、4年の算数「面積のはかり方と表し方」で、2クラスを3コースに分け、1コース19人の児童一人一人に応じたきめ細やかな習熟度別少人数指導を行った。また、視聴覚教材や東部教育事務所のホームページにあるワークシートを積極的に活用し、「分かった！できた！」といった実感のある学習活動が展開できるように、学習内容を工夫・改善した。



(2) 本校独自の取組

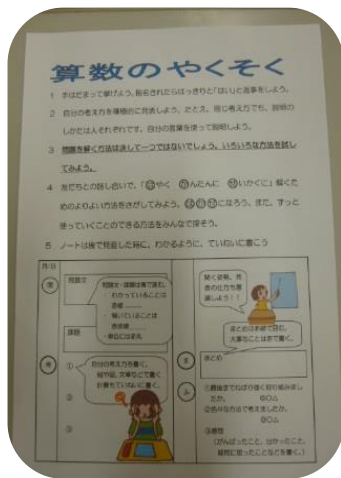
板書の掲示物の作成

- どのクラスでも、問題解決的学習が行われるよう、また、学年が上がっても同じ流れで児童が授業を受けられるよう、問題の(問)のマークや自力解決の(考)のマーク、振り返りの(ふ)のマーク等を作成し、毎時間それを用いて授業を行った。また、児童のノートと板書が同じ流れになるように統一した。



【児童がノートをとる際の約束事】

- 算数部会を中心に「算数のやくそく」を作成し、共通の学習規律を身に付けさせるよう指導した。



【計算ドリルでの基礎基本の定着】

- 週1回の「算数タイム」や宿題などで、計算ドリルに取り組みさせた。一覧表にチェックさせることで、計画的に取り組みさせた。



【各学級のワークテスト目標達成率の設定】

- 算数の期末テストで、学年毎に目標値を設定し金賞シール、銀賞シール、銅賞シールを貼ることで、意欲化を図った。

学力向上に向けた学年での取組シート

6年 (算数)

	1組	2組
達成目標率	(数値を記入) %	(数値を記入) %
達成率	(数値を記入) %	(数値を記入) %

①1学期の課題・学力テストの課題

- 学力状況調査の課題
 - 割合、百分率を活用し、安く買う方法を説明する。
 - 棒グラフ、円グラフ
 - 本数調査の比較、図比割
 - 単位量あたり大きさ
- 授業での課題
 - 円の面積の学習では実利的な形の面積を求めることが難しく、知識の定着がうまくできなかった。

②2学期の取り組み

	授業	算数タイム	宿題
九月 十一月	・比 ・比例、反比例 数量の関係を確認して指導するとともにこれまでの学習も入れて基礎基本の定着を目指す。 少しずつ応用問題にも挑戦させ、知識の活用を促す場を多くしていきたい。	・計算ドリルを活用し、反復練習を行い、定着を目指す。	・計算ドリルを中心に反復練習と基礎基本の定着を目指す。

3 成果と課題

(1) 児童生徒の変容した(伸びた)姿について

- 3年間授業の流れやノートの取り方を共通のものにしたことで、学習の仕方が身に付いてきた。子供なりに筋道を立てて考えられる児童が増えた。
- 少人数指導において、個に応じた指導を徹底することで、分からない児童が減った。

(2) 分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

- 単元終了後、学習の振り返りテストをし、自分はどこが分からないのか明確にし、克服問題を与えることで、家庭学習の内容の充実を図る。
- 分からない児童に個別指導する時間を更に見いだしていくことで、理解を深める。